

手話言語条例制定2周年 映画「咲む」上映会を開催



2021年に手話啓発4コマ漫画冊子を作った木造高校美術部イラスト同好会の皆さんも映画を鑑賞

市と西北五ろうあ協会(大村とみ会長)が、つがる市手話言語条例制定2周年記念事業として、映画「咲む」の上映会を開催しました。上映会は3密を回避するため4回に分けて行い、市民をはじめ西北五ろうあ協会関係者など約120人が鑑賞しました。

「咲む」は、主人公の耳の不自由な女性がある村で地域おこし協力隊として奮闘する姿を描いた物語で、彼女の笑顔と行動が村人たちの心を開いていきます。

上映会に参加した木造高校3年美術部長の木村愛斗君は「障害が個性として受け入れられる世の中になってほしい」と話しました。専門学校生の白戸琴弓さんは「高校生の時にろう者とかかわってろう者の生活や手話を知ることができた。映画を見て、『こんな手話もあるんだ』と発見が多く、さらに理解が深まった」と感想を話しました。

上映会では募金も受け付け、映画を作った全日本ろうあ連盟創立70周年記念映画製作委員会に全額寄付されました。

都道府県対抗中学バレーボール大会 県選抜メンバーに

木造中3年三浦蒼央君と車力中3年小寺凜さんがJOCジュニアオリンピックカップ「第35回全国都道府県対抗中学バレーボール大会」県選抜メンバーに選ばれました。この日、2人は市役所を訪れ、倉光市長に全国大会への抱負を話しました。

小学3年生からバレーを始めた小寺さんは「最後まで諦めないことを一番に心掛け、チームとともに成長することができました。『明るく素直に全員バレー』を合言葉に、大会では優勝候補の東京代表と対戦するので良い結果を残せるようがんばります」と話しました。

高いジャンプ力を持つ三浦君は「県選抜の自覚を持って、今まで自分を支えてくれた方々への感謝を忘れずに、ベスト16を目指してがんばりたい」と意気込んでいました。

倉光市長は「県選抜メンバーに選ばれることは難しいこと。誇りと意気込みをもって全国大会では思いっきりコートにスパイクを打ってきてください」と激励しました。



ライトアタッカーの小寺さん(左)とレフトアタッカーの三浦君(右)

本市の生産者が旨い米グランプリを受賞!



左から小笠原さん、葛西さん、小関商事代表取締役小関賢一さん

令和3年産「あおもりの旨い米グランプリ」で本市の生産者がグランプリ・準グランプリを受賞しました。この賞は県産米のさらなる評価向上に向けて、良食味生産に対する生産者の機運醸成を図るために県が毎年表彰。県内1位の水稲収穫量を誇る本市から今年は3者が受賞。「つがるロマン」では小笠原俊也さん(木造)が昨年に続いてグランプリ、「まっしぐら」では葛西拓美さん(森田町)がグランプリ、小関商事(柏)が準グランプリに輝きました。

小笠原さんは「これからもおいしいお米を、基本に忠実に作っていきたい」と胸を張りました。葛西さんは「肥料を控えめにするなど環境保全型農業に取り組んできました。培った技術を次の世代に引き継いでいきたい」と将来を見据えていました。小関さんは「消費者の皆さまに喜んでもらえるよう日夜努力してきた。そのことが認められ深く感謝します」と喜びを語りました。

小笠原さんは、全国の良食味米コンクール「米・食味分析鑑定コンクール国際大会」でも「特別優秀賞」に輝きました。

4法人と福祉避難所の確保に関する協定を締結

市と市社会福祉協議会(白戸英行会長)、印光会(佐藤仙理理事長)、潮音会(西久保哲司理事長)、柏友会(成田英世理事長)が福祉避難所の確保に関する協定を締結しました。福祉避難所は、災害時に一般の避難所では生活が難しい高齢者や障害者等が安心して避難生活を送るためのもので、本市ではその確保が課題となっていました。市と4法人は連携、協力して災害時の福祉支援体制を充実、強化していきます。

協定書調印式では倉光市長が「いざというときに要配慮者を保護していただけることに大変心強く思っています。誰もが安心して暮らせる住みやすいまちづくりに取り組んでいきます」と述べました。4法人を代表して市社会福祉協議会白戸会長が「有事の際は一般の避難所では対応が困難な方に対し施設を開放し、施設の機能と介護の人材を活用し安心して生活できるよう支援したい」と抱負を述べました。



左から佐藤理事長、白戸会長、倉光市長、成田理事長、西久保理事長

柏ミニバス女子 東北大会での活躍を誓う!



練習してきたことを皆で出し切って優勝したいと意気込む柏ミニバス女子チームメンバー

12月11日、12日に十和田市・六戸町で開催された「第53回全国ミニバスケットボール大会青森県予選」に出場した「柏ミニバス」女子チームが準優勝を果たし、東北大会出場を決めました。決勝では「十和田南ミニバスケットボール」チームと対戦し、接戦の末、惜しくも25対24の1点差で涙のむ結果に。それでも東北大会の出場権を獲得したチームメンバーは優勝を目指して意気込んでいました。

この日、チームメンバー15人が市役所を訪れ、倉光市長に県予選の結果を伝え東北大会への抱負を話しました。倉光市長は「県予選決勝は1点差で悔しい思いをしたことでしょう。東北大会では1つでも多く勝って楽しんでください」と激励しました。

柏小6年のキャプテン古坂楓さんは「もっと攻めておけばよかった」と県予選を振り返り、東北大会では「チームの持ち味の速攻と落ち着いたディフェンスで優勝したい」と決意を述べました。※東北大会は新型コロナウイルスの影響により中止となりました。

陸上自衛隊第9音楽隊 吹奏楽コンサートを開催

陸上自衛隊第9音楽隊による「ふれあいコンサート」が開催されました。このコンサートは牛潟公民館が自衛隊青森地方協力本部五所川原地域事務所に開催を要望し実現。約170人の観客がその演奏に耳を傾けました。音楽隊は金管5重奏によるアニメ映画「となりのトトロ」挿入歌のメドレーをはじめ、夏の全国高等学校野球選手権大会の歌でもある「栄冠は君に輝く」や演歌メドレーなど幅広いジャンルの曲を披露。観客たちはリズムに乗せて体を動かしたり、手拍子をとったりと音楽隊が奏でる音色を堪能。親子で来場した車力小1年の平山紗雪さんは「音楽隊の演奏を聴いて音楽が好きになった。休憩のときにピカピカの楽器を見せてもらってうれしかった」と話しました。

主催した牛潟公民館の小山内竹一館長は「新型コロナウイルスの影響で市民のふれあいの機会が制限されている。コンサートを楽しんでもらい地域の活性化につながればうれしい」と語りました。



聴衆を魅了した自衛隊音楽隊の演奏